



🍏 使用済みレジ袋のリサイクルループ

有料化は発生抑制 — レジ袋は「悪?・・・」機能性の高い便利な包装資材
何度も使って — 使用済みレジ袋を再生資源にリサイクル





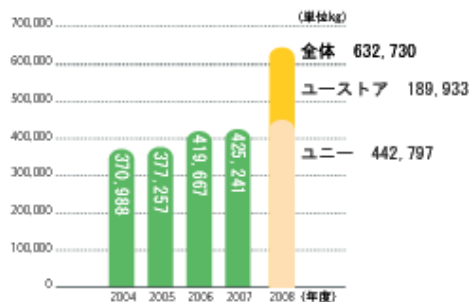
②使った容器包装を廃棄物にしない取組み

お客様が商品と一緒に持ち帰った容器包装を回収し、再生資源にする。

リサイクルボックスによる店頭回収

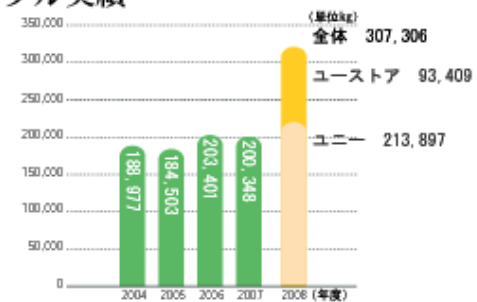
牛乳パックリサイクル実績

年度	参加店舗	食品取扱店舗	参加率(%)
2004	137	141	97.2
2005	138	140	98.6
2006	142	142	100.0
2007	142	142	100.0
ユニー	150	150	100.0
ユーストア	70	74	94.6
全体	220	224	98.2



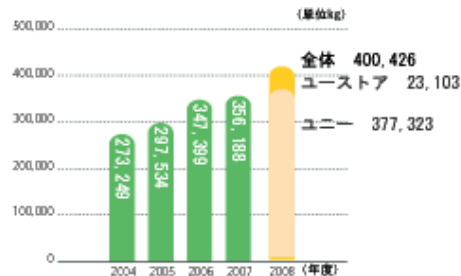
発砲スチロールトレイリサイクル実績

年度	参加店舗	食品取扱店舗	参加率(%)
2004	139	141	98.6
2005	139	140	99.3
2006	142	142	100.0
2007	141	142	99.3
ユニー	150	150	100.0
ユーストア	74	74	100.0
全体	224	224	100.0



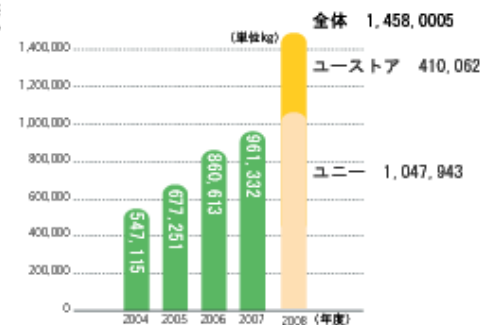
アルミ缶リサイクル実績

年度	参加店舗	食品取扱店舗	参加率(%)
2004	113	141	80.1
2005	114	140	81.4
2006	121	142	85.2
2007	123	142	86.6
ユニー	130	150	86.7
ユーストア	13	74	17.6
全体	143	224	63.8



ペットボトルリサイクル実績

年度	参加店舗	食品取扱店舗	参加率(%)
2004	64	141	45.4
2005	68	140	48.6
2006	85	142	60.0
2007	90	142	63.4
ユニー	97	150	64.7
ユーストア	60	74	81.1
全体	157	224	70.1





②使った容器包装を廃棄物にしない取組み

リサイクルセンターに集約

容器包装リサイクルの仕組み





環境にイイこと、プラス。



②使った容器包装を廃棄物にしない取組み

回収容器のリサイクルループ





③サスティナブルな原料を使った容器包装への取組み

限りある石油資源を使用せず、「繰り返し」栽培可能な植物資源を原料にする。

バイオマスプラスチック製容器の使用

卵パック・フルーツケースに使用（2006年から全国全店で導入）



バイオマスマーク
動植物を原料とした
プラスチック
使用後は水と二酸化炭素に
分解され、自然に還ります。



フルーツ用プラスチックケース



鶏卵用パック



バイオマスプラスチックケースは
レジにて回収

1
植物生まれの原料を
使うことで、石油など
大切な資源の節約に
つながります。

2
バイオマスプラスチッ
クは燃やしても、地球
上の二酸化炭素を増
やしません。

3
生ゴミと一緒にすてて
も土の中の微生物が水
と二酸化炭素に分解し、
形がのこりません。

4
回収した容器は、リサ
イクルされ新しい容
器の原料に生まれ変
わります。



③サスティナブルな原料を使った容器包装への取組み 使用済みバイオマスプラスチック製容器のリサイクル

バイオマスプラスチックのリサイクルループ





③サステイナブルな原料を使った容器包装への取組み

使用済みバイオマスプラスチック製容器のリサイクル
課題は回収量を増やすこと

— 店頭回収をもっと知ってもらい、回収率を上げる。

認知度向上のための啓発活動

各地の環境展で紹介



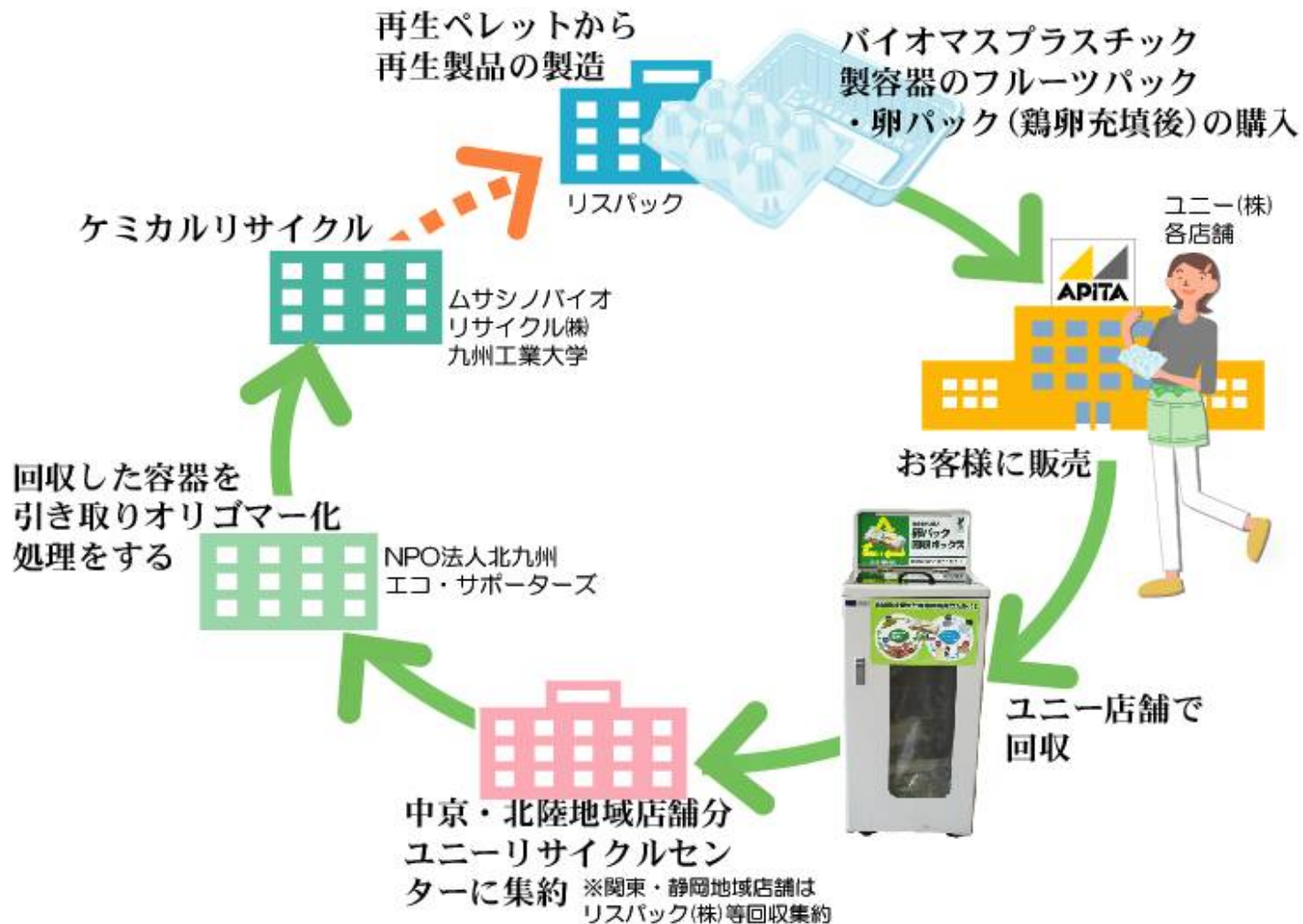
グリーン購入キャンペーン





③サステイナブルな原料を使った容器包装への取組み

バイオマスプラスチック製容器のリサイクルループ





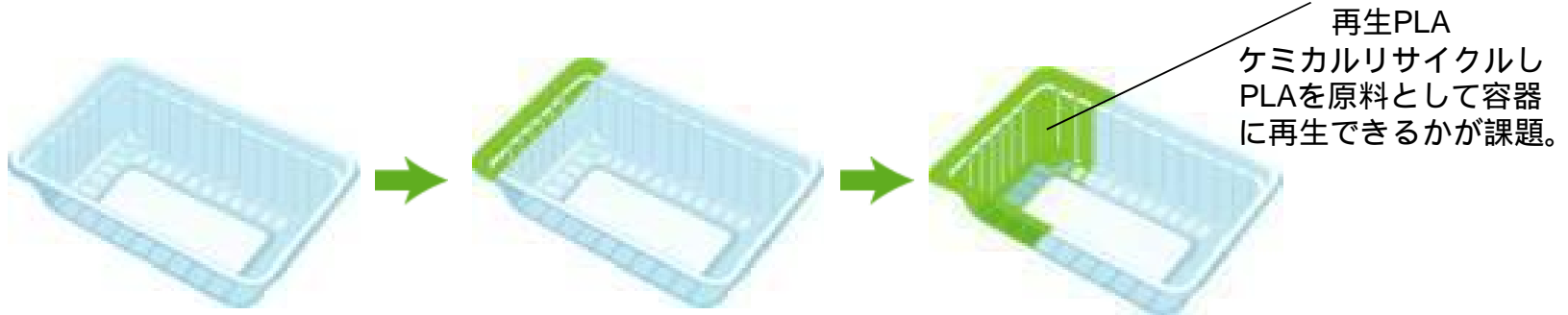
③サスティナブルな原料を使った容器包装への取組み

使用済みバイオマスプラスチック製容器のリサイクル

種類の違うプラスチック容器が混入していても、加水分解で分離できる。



再生PLAが入った製品を作りたい。





容器包装のこれからの課題

①商品の容器包装の見直し

・・・セルフサービスシステムにおける容器包装をいかに削減していくのでしょうか。

- 生鮮食品の包装資材（トレイ・ラップなど）
- 食品衛生管理と容器包装のリユース

②容器包装資材は廃棄物か循環資源か

・・・店頭回収による容器包装のリサイクルの有効性について

- 回収した容器包装を商品にするリサイクルループについて。
- プラスチック製容器包装は廃棄物なのでしょうか。

③バイオマスプラスチック製容器包装の先行きは明るいのでしょうか。

・・・バイオマス燃料や食糧としての利用との競合関係はどうなっていくのでしょうか。

- 現在のバイオマスプラスチックは可食原材料を原料にしています。
- バイオエタノールの原料と競合していくと、価格が高騰していきます。

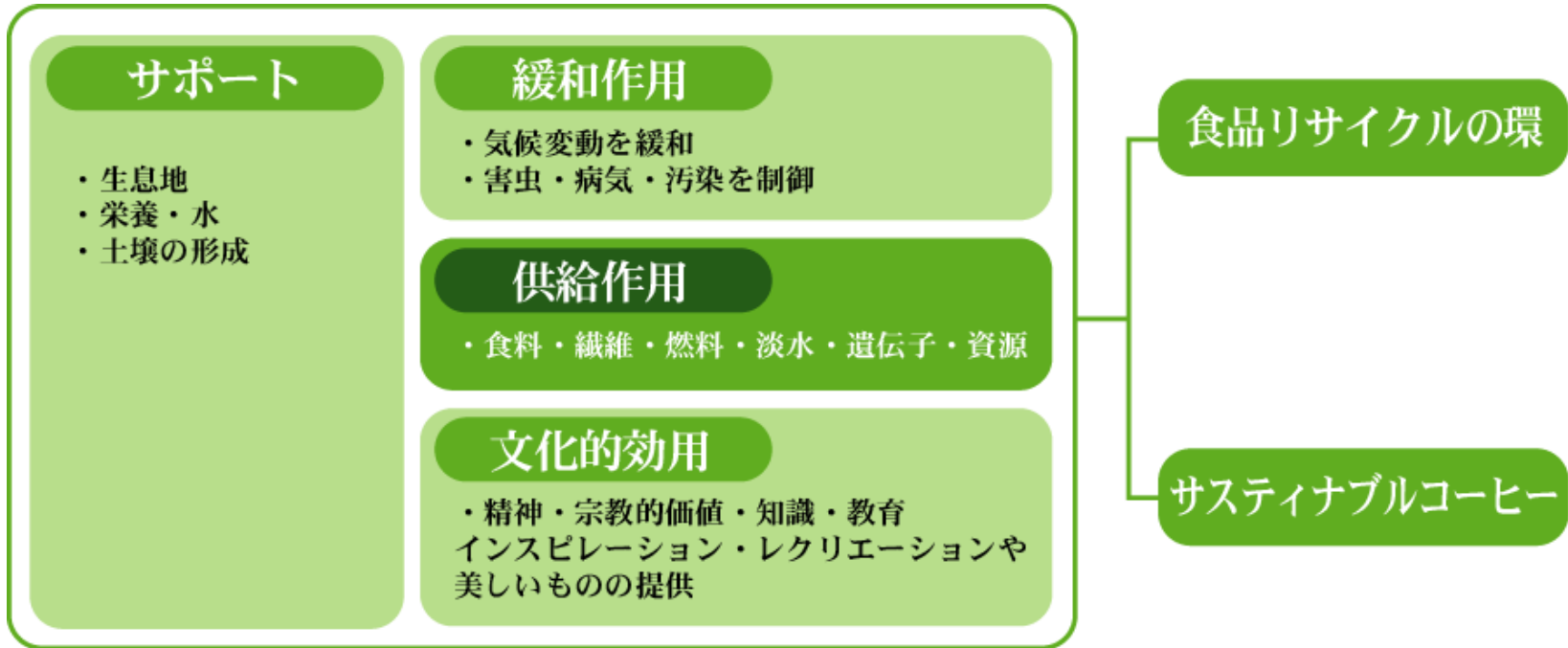


サステイナブル容器包装の利用は、小売業にとって大きな課題です。

- ①容器包装はできるだけコンパクトにして、資源使用抑制に努める。
- ②容器包装の原料を原料リサイクルできるものにし、使い捨てにしない。（リターナブルも含め）
- ③サステイナブル容器包装になりうるバイオマスプラスチック製容器包装に、セルロースなど未利用資源を原料にしたものを用いる。
- ④次回の容器包装リサイクル法見直しには、バイオマスプラスチック製容器包装を「プラ容器」から外し、「植物由来プラスチック」として、紙容器なみの委託料とする。
- ⑤商品のLCAにも容器包装は影響し、カーボンフットプリントのCo2カウントの値も小さくはない。



自然の生態系からの恩恵



私たちはたくさんの生物と一緒に生きています。たくさんの命を糧にして。



食品リサイクルは命をつなぐ環



食べられなかった食品を再生資源にして、作物を栽培しています。



①サスティナブルコーヒーとは…

地域社会の持続可能な発展のために、社会・経済・環境に配慮して生産されたコーヒー

世界のコーヒーを栽培している地域は、赤道付近の熱帯雨林や生物多様性の豊富な地域である。

農薬、水、土壌、隣接する森林への配慮を図っている。

熱帯雨林の下で栽培するシェイドグロウン農法（コーヒーの樹は日陰で栽培する）

栽培する農家の生活環境保全や経済的な自立を図る。

地域社会への、安全・健康・住宅や教育施設などの提供

消費者にとっては、コーヒーの品質・安全性と生産や流通過程の透明性が確保できる

②レインフォレストアライアンス認証とは、

ミッション…土地の利用法・商取引・消費者の行動を変えることにより、生物の多様性を維持し、人々の持続可能な生活を確保する。

持続可能な農業により、野生動物・働く人々・地元社会の生活が守られていることを認証している。





環境にいいこと、プラス。



一杯のコーヒーから地球環境を考える



熱帯雨林の保護活動を行う国際的な非営利団体。レインフォレストアライアンスは、地球環境保全へ向けて活動しています。

熱帯雨林の下で栽培したコーヒーを飲むことが熱帯雨林とそこで生きる生物を守ります。



環境にイイこと、プラス。



ユニーの子供環境学習 お店探検隊





環境にいいこと、プラス。



ユニーの子供環境学習

NPOとのコラボレーション



環境省中部環境パートナーシップオフィス

地元企業とのコラボレーション





ユニーの子供環境学習 夏休み自然探検





ユニー株式会社は、「エコ・ファースト企業」として 環境省より業界初の認定をいただきました



「エコ・ファーストの約束」を交わす
鴨下環境大臣とユニー(株)前村社長(平成20年4月21日)

① 食品リサイクルを適正かつ積極的に推進します。

② その他循環型社会の形成に向けた取組をお客様と一緒に積極的に推進します。

③ 地球温暖化の防止に向けた取組を積極的に推進します。

—「エコ・ファースト制度」とは—

環境省が業界のトップランナー企業の環境保全に関する行動を更に推進するために創設した制度です。



環境にイイこと、プラス。



エコ・ファーストの約束 環境先進企業としての地球環境保全の取組



1 食品リサイクルを適正かつ積極的に推進します。

食品廃棄物等の発生抑制の取組として、2012年度までに、食品売上高当たりの食品廃棄物等の発生量を2007年度と比べ10%削減します。

食品リサイクル法に基づき、食品循環資源のリサイクルの取組を2012年度までに、全店舗において展開し、会社全体として2012年度に再生利用等実施率60%を達成します。

再生利用事業計画認定制度を活用して、当社が排出した食品循環資源を再生利用することを通じて得られる農畜水産物を、再び当社において販売する食品リサイクルループを、地元のリサイクル業者や農業者等と連携し、地産地消の取組となるよう配慮しつつ、2012年度までに、当社が店舗展開する18県の全地域に拡大します。

消費者や次世代を担う子どもたちに対して、環境配慮に係る普及啓発を積極的に推進するため、食品リサイクルループに参画する農場での収穫体験ツアーを実施する等、2012年度までに全店舗において年1回以上の環境学習会を実施します。

2 その他循環型社会の形成に向けた取組をお客様と一緒に積極的に推進します。

容器包装廃棄物の発生抑制の取組として、2012年までに会社全体として、レジ袋の辞退率60%を達成します。

地方自治体と協力しながら、お客様が商品と一緒に持ち帰った容器包装を店頭回収し、限りある資源を有効に循環させます。

配送業者と連携し、配送時の梱包材を通い箱に転換することにより、2012年度までに、段ボールの廃棄物排出量を2007年度と比べ10%削減します。

3 地球温暖化の防止に向けた取組を積極的に推進します。

環境配慮商品やサービスを、消費者を含む第三者機関による検討を行って積極的に開発し、その販売拡大を図るとともに、それらの情報を提供することを通じ、地球温暖化防止を目指したライフスタイルの提供を推進します。

事務所内はもとより、店舗においても、お客様の理解を得ながら空調温度設定による省エネ化を推進します。

2012年度までに全ての店舗における照明器具を、通常の蛍光灯より少ない電力で同等の照度を保つ「Hf蛍光灯」へ転換するとともに、看板の照明を電力消費量の少ないLED照明に転換することにより、店舗における電力使用量を削減します。



未来の子供達に美しい自然を残したい



私たちは持続可能な社会の実現のために、
お客様や関係する方たちと一緒に、努めていきます。